

## 第14回日本臨床検査学教育学会学術大会のお知らせ

古 閑 公 治\*

## 大会長挨拶

この度、第14回日本臨床検査学教育学会学術大会を2019年8月21日(水)から23日(金)の3日間、熊本市北区の熊本保健科学大学におきまして、開催させていただき運びとなりました。このような伝統ある学術大会を開催できますことを誠に光栄に存じます。さらに、会員校の皆様方に感謝申し上げますとともに、有意義な学術大会となるよう準備を進めて参ります。

学会のテーマは「支え合う・寄り添う」です。我々は、平成26年4月14日21時26分と16日1時25分に2回の地震を経験しました。後に「熊本地震」と命名されました。日本いや、世界でも経験が少ないと考えられる震度7の前震と本震、それに一連の余震の多さに日常生活もままならない日々が続きました。本学構内は、全国から駆け付けてくださいました被災地復興支援 DVT 検診ボランティアや学生ボランティアの拠点および宿泊所として機能しました。未曾有の震災を乗り越えて、熊本の地で学業および復興に励んでいる学生や臨床検査技師の皆様のひた向きの姿を覗いてみていただければと考えます。そこで、学会のテーマについて、我々の貴重な経験をもとに人と人、学生と教職員、先輩と後輩、同級生と同級生など人々が支え合う中で寄り添って共存共栄することで、新たな社会への活路を踏み出すことが、さらに求められているのではないかと考えました。

学会テーマに関するシンポジウムや教育講演、特別招聘講演などを企画しています。特に学生と教員との「支え合う・寄り添う」テーマとして「臨床検査技師教育における修学支援」、社会と臨床検査技師との「支え合う・寄り添う」テーマとして「災害医療について」など興味深い内容となっています。なお、会員校の先生方からシンポジストや座長をお願いしたいと考えております。ご協力・ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

一般演題の発表日を例年の如く、学会2日目の8月22日(木)としており、先生方(教員セッション)や大学院生(大学院セッション)、学部生・短大生・専門学校生(学部セッション)から多数の演題発表をお願いいたします。また、大学院セッションと学部セッションの中から、優秀発表賞を発表当日の表彰式にてご披露いたします。

熊本のご当地情報をお知らせいたします。8月の気温です。平均気温が熊本市内で27.4℃、阿蘇で20.4℃です。最高気温が熊本市内で37.1℃、阿蘇で29.1℃です。熊本市内では高温多湿ですので、くれぐれもクールビズにてご参加をお願いいたします。一方、熊本市内の蒸し暑さを忘れる阿蘇地方では高原の清々しい気候が待っています。世界一のカルデラを有する阿蘇山や温泉郷(黒川温泉など)も全国区の人気です。海を楽しむのであれば天草地方も必見です。食の楽しみとして、馬刺しやからし蓮根、一文字ぐるぐる(ひともじのぐ

\*熊本保健科学大学保健科学部医学検査学科 hirokoga@kumamoto-hsu.ac.jp

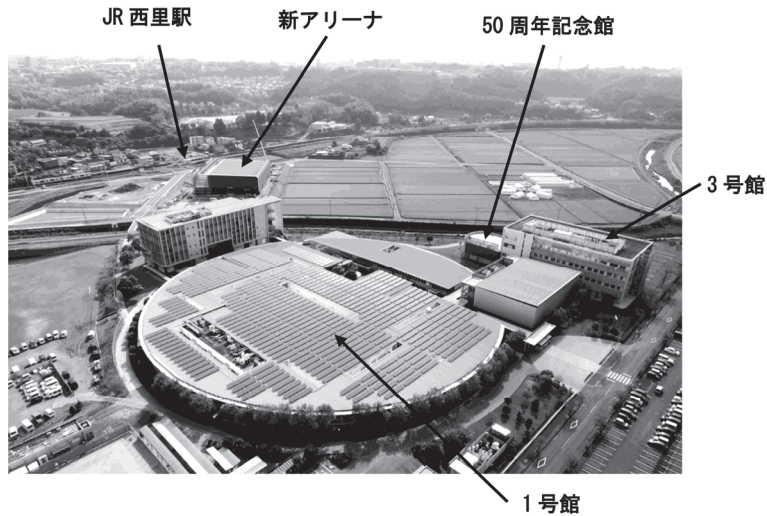


写真1 熊本保健科学大学の空撮(2018年)

るぐる)、太平燕(タイピーエン)などのご当地グルメも満載です。

参加者の皆様方に熊本の地で教育・研究について語り合い、郷土料理でリフレッシュしていただけることを願っておりますと共に、多数のご参加を心より申し上げます。

### I. 熊本保健科学大学の紹介

会場の熊本保健科学大学を紹介いたします。

学校法人銀杏(ぎんきょう)学園 熊本保健科学大学は、昭和33年(1958年)に衛生検査技師法が立法化されたことを受けて、昭和34年、当時の財団法人 化学及血清療法研究所の公益事業の一環として設立された化血研衛生検査技師養成所を前身とし、厚生省指定の衛生検査技師養成所として全国で最初に認可された6校のうちの1つとして設立されました。昭和35年に熊本医学技術専門学校へ改称しました。その後、衛生検査技師の知識および技能向上が要望され、昭和43年(1968年)に学校法人銀杏学園 銀杏学園短期大学(2年制)、昭和48年に銀杏学園短期大学 衛生技術科(3年制)へと発展しました。さらに、時代のニーズに応えるため、平成15年(2003年)4月、現在の熊本市北区和泉町に新築移転(1号館)し、グッドデザイン賞やくまもと

アートポリス推進賞を受賞しました。移転に伴い4年制となり、保健科学部に衛生技術学科を設置した熊本保健科学大学(以下、本学)として開学しました。平成23年4月、衛生技術学科は医学検査学科へ学科名を変更しました。現在までに保健科学部には医学検査学科、看護学科およびリハビリテーション学科に理学療法学専攻、生活機能療法学専攻、言語聴覚学専攻の3専攻科を設置しています。その他、助産別科やキャリア教育研修センターの認定看護師教育課程脳卒中リハビリテーション看護分野、慢性心不全看護分野に加え、大学院保健科学研究科保健科学専攻(修士課程)を設置することにより、研究活動の向上に寄与しています(写真1)。平成30年2月には新アリーナも完成し、来年には創立60周年を迎えます(写真2)。

今回の学会では、メイン会場となる50周年記念館(400名収容)をはじめ、1号館、3号館の大・中・小講義室等を準備しており、多数の会員および学生の皆様のご参加に対応可能です。

最後になりますが、熊本保健科学大学へのアクセスです。最寄りの駅がJR西里駅(小さい無人駅)です。JR西里駅から大学まで徒歩3分程度です。JR熊本駅から3駅目のJR西里駅(約9分)下車です。但し、時間帯によりますが20～

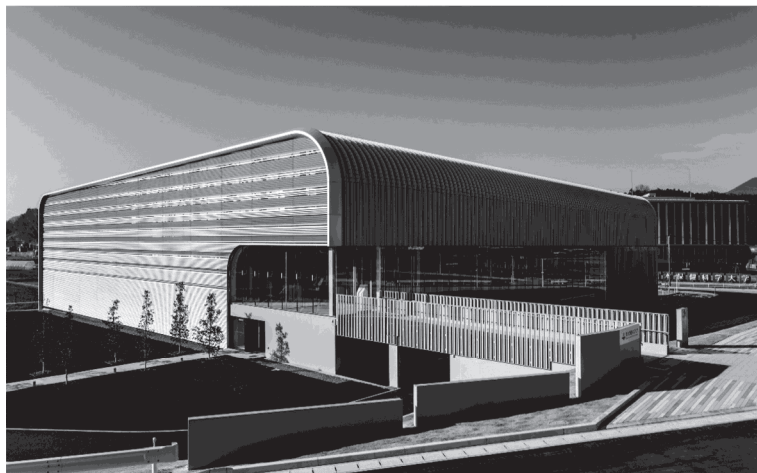


写真2 新アリーナ(JR西里駅から望む)

30分間隔の運行ですので、時間に余裕をお願いいたします。また、熊本市中心部からは熊本市電(路面電車)で上熊本駅前下車して、JR上熊本駅から2駅目のJR西里駅(約5分)下車です。路線バスのご利用をお勧めしません。空路をご利用の場合、熊本空港から交通センター(熊本市内

中心部)ー熊本駅前まで空港リムジンバスで約50~60分です。宿泊について、本学付近にホテル等の施設がございません。ご迷惑をおかけしますが、熊本市中心部または熊本駅周辺の宿泊施設をお勧めいたします。